

2012年12月24日(月) クリスマス・イヴ礼拝

音 楽	○ Holy Night 宮川由起子 (伴奏:後藤真己)
賛 美 主の祈り	讃美歌112番「もろびとこぞりて」(JESUS・イエス様)
音 楽	J.S.バッハ「クリスマス・オラトリオ」より カルバリー聖歌隊&アンサンブル 指揮:香月健 朗読:坪井永城
聖 書 メッセージ	マタイによる福音書2章1~12節 「求めよ、捜せ、門をたたけ！」 大川従道牧師
献 金 頌 栄 祝 禱	讃美歌109番「きよしこの夜」 ハレルヤ
・キャンドル・サービス	「Happy Birthday Jesus！」
・サイン・ダンス	「Little Drummer Boy」

主のご降誕を心からお慶び申し上げます。
皆様に、神様の祝福を心よりお祈りいたします。
牧師 大川従道・執事会一同

・この教会のモットーは「明るく、元気で、のびのびと！」日本のキリスト教のイメージを変革し続ける喜び溢れた教会です。毎週日曜、分かりやすく感動的な聖書のお話を聴き、讃美歌をうたい、生きる力と希望をいただきます。インターネットでも動画放送しています。FM やまとも毎日曜11時に生放送中。子どもからご年配の方まで、どなたでも歓迎いたします。またお会いいたしましょう！（明日はクリスマス当日礼拝。10時半。）

*『初詣礼拝』一年のはじめは教会へ。元旦9時と11時。お話は大川牧師。
大和駅前バス:8:00/8:20/8:40 10:00/10:20/10:40 演歌あり、福袋あり！

石の枕

メリークリスマス!! 英語では、Merry Christmas! Christはキリストのことですからキリストめきのクリスマスは、本人のいないバースデーパーティーをしているみたいで、かなりおかしいですよ。ところが、日本中は、平気で、ご本人不在のパーティーを、クラブで、テレビ、ラジオ、デパート等々で「メリークリスマス！」をかかっている。でもいいか、日本中でクリスマスキャロル(讃美歌、ゴスペル)が流されていることは、いつかきっと不思議な変化が起こるでしょう。ニューヨークでは、それに気づいた人々が、クリスマス休暇といわずに「ハッピーホリディ」と変えるべきだと大声で叫んでいるとか。ちょっとヘンなことは世界中にあるから、「おまえのことは、わからん!!」と故大滝秀治流でまとめておきましょう。こういう言い方は、天野祐吉流でもある。

さて、アメリカンジョーク。黒人が白人の教会に入れてもらえなくて、外で泣いていたら、イエス様が近づいて来て、「私も入れてもらえなかった」と慰め合った?!

キリストめきの教会なんてありえないが、哲学者のケルケゴールも同じような皮肉っぽい文を書いている。

この世でいちばん悲しむべき言葉のひとつはこれだ。「ここはあなたのいる場所ではない」。イエスはこの言葉の響きをご存知だった。

主がまだマリアのお腹の中にいるときに、宿屋の主人が「うちには、あんたを泊める場所はないよ」と言ったのだ。(ルカ福音書2章)

そして主が十字架にかかれたとき、この言葉は完全な拒絶のひとつではなかったか。「この世界に、おまえを受け入れる場所はない。」

今日でさえも、イエス様は同じ扱いを受けている。主は人の心から心へと、中に入ってもいいかとたずねて歩かれる。(マックス・ルケード)

ぼくたちは自分の心の中に主がおられる場所をもうけ、主はご自分の家にぼくたちの住まう場所を備えてくださるのだ。ハレルヤ！最高にカッコイイクリスマスをお祝いしましょう。Thank you Jesus! Happy Birthday Jesus!!

* おまけジョーク。「改札を・通れずよく見りゃ・診察券」(シルバー川柳)

わたしがあなたがたに対していっている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものである。であり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。エレミヤ書二十九章十一節